

■平成 26 年度の推進事業について

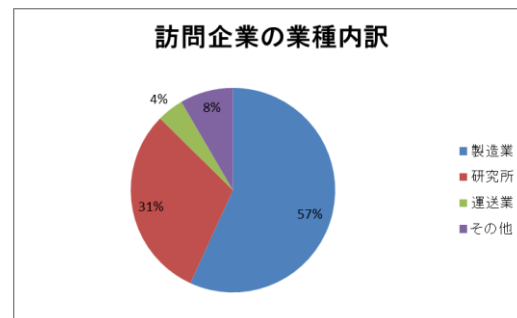
(1) 中小製造業者等に対する巡回訪問の強化とプロジェクト化のサポート

●市内企業への巡回訪問等

〔実績〕（2 月末現在）

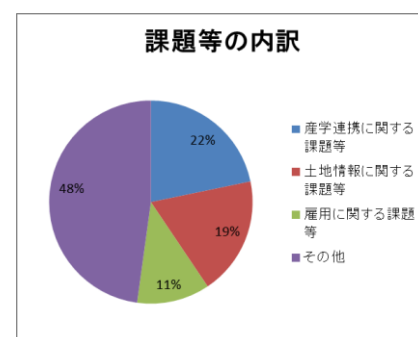
- ・ のべ訪問企業数 95 社

製造業	54 社	、	研究所	29 社
運送業	4 社	、	その他	8 社
- ・ のべ相談企業数 48 社
- ・ 上記のうち、課題があった企業 51 社



〔課題の主な内容〕

- ・ 産学連携に関する課題等 15 件
大学と連携したいが、窓口がわからない。
補助金の対象となる大学以外との連携を希望。
- ・ 土地情報に関する課題等 13 件
移転や拡張のための適地が見つからない。
- ・ 雇用に関する課題等 8 件
ハローワークで募集をかけているが、
人が応募してこない。
応募はあるが、良い人材がいない。
- ・ その他 33 件
市内事業所からの建替えの相談
従業員が安全に通勤できるような環境づくりについて



〔成果〕

- ・ 産学連携の推進
産学連携スタートアップ支援事業の周知を図るため、茨木商工会議所等各関係機関に協力を依頼するとともに、産学連携に興味を示していた市内中小企業 24 社を訪問を行った。
結果、12 社から本事業についての相談受け、その内 3 社が本補助金を申請し、採択を受けた。
- ・ 事業用地のマッチング
市内で継続操業できる土地を探している A 社と所有地の活用策を検討している B 社の両社を引き合わせた。
現在、両社で土地に関する協議を進めている。
- ・ 障害者雇用の創出
（株）生活と科学社から「市外の障害者作業所に業務を委託している」と聞き取り、同社に本市の作業所との業務委託の検討を依頼したところ、前向きな回答が得られたので、障害福祉課につなぎ、交渉の結果、かしの木園が石けん洗剤の袋詰め作業を請け負うこととなった。

(2) ビジネス交流機会の充実

茨木商工会議所事業 4件

●活用できる実践型セミナー&交流会〔新規〕

日 時 平成26年10月8日(水)

内 容 小さなお店や会社のための「キャッチコピー」作成講座
(講師：福満ヒロユキ氏)

講師と参加者を交えた交流会で情報交換

参加者 47人

●いばらき異業種交流会

日 時 平成26年11月27日(木)

内 容 コミュニケーション力を上げる実演講習(講師：福住昌子氏)
99秒を100%使い切る、売り込みPRタイム
市内最大の名刺交換交流ステージ

参加者 124人

●創業者向け異業種交流会〔新規〕

日 時 平成27年1月17日(土)

内 容 創業するためのポイントセミナー(講師：東川仁氏)
99秒を100%使い切る、売り込みPRタイム
市内最大の名刺交換交流ステージ

参加者 37人

●人事労務担当者セミナー&交流会〔新規〕

日 時 平成27年2月20日(火)

内 容 イマドキの若手社員の力を経営に活かす方法
(講師：高橋信之氏)

若手社員の活かし方について学ぶとともに、交流会で情報交換

参加者 14人

(3) 民間の自発的な取組を誘発する仕組みの整備

●茨木まちなのにぎわいづくり連絡会議 (茨木商工会議所事業)

会議回数 6回

(2ヶ月に1回開催、うち1回は3月24日に開催予定)

参加者 延べ121人 (第5回まで)

(4) 提案公募事業の創設

●茨木市提案公募型公益活動支援事業補助制度 (産業活性化プロジェクト促進事業)

[実績]

団体名	事業名	交付確定額
【企業・商品PR】 1件		
いばらきバルフェスタ協会	バルフェスタいばらき2014	500,000円
【商店街イベント】 5件		
茨木市商業団体連合会	夕涼みイベント茨木童子まつり & 商店街茨木童子年末謝恩大売出し	1,240,000円
茨木駅前本通商店会	年末イルミネーション大売出し	135,000円
茨木阪急東中央商店街	イルミネーション年末大売出事業	124,000円
ロサヴィア商店会	クリスマスイルミネーション装飾事業	500,000円
ロサヴィア商店会	新春イベント事業	500,000円

[評価]

- 比較的新しい事業（いばらきバル）もイベントとして定着してきた。
- 例年実施している事業のうち、新たな取り組みや工夫がみられた。
- △ **【企業・商品PR】** および **【新製品開発】** は、新規申請案件がない。
新規案件の発掘や制度の周知に努める。

●産学連携スタートアップ支援事業補助制度

[実績]

【新製品開発】 2件

【新技術開発】 1件

番号	企業名	事業名	概要	連携する大学	申請金額
1	高石工業株式会社 (主原町3番18号)	ゴム成形時の金型汚れの解明	ゴム成形時の金型汚れの原因を解明し、製造ラインでの生産性の向上・検査時間の短縮・不良率の削減等を目指す。	大阪大学	820,000
2	株式会社プロテクティア (彩都あさぎ七丁目7番15号)	カテキン誘導体を用いた抗アレルギー製品の開発	カテキン誘導体を用いた抗アレルギー製品の実用化、製品化を目指す。	大阪大学	1,714,000
3	I.S.C.Lab.株式会社 (北春日丘三丁目8番11号)	個人用放射線検量器算計の開発	高感度放射線検出の開発を行うとともに、放射線被ばく検量の測定から記録までを自己管理できることを目指す。	大阪大学	2,303,000
合計					4,937,000

[評価]

- 初年度であるため、制度の周知に努めた。
- 目標2件に対し、3件の申請があり、交付決定を行った。
- 市内大学以外との連携を希望する声に応えるよう、平成27年度から制度を拡充する。

(5) 茨木ブランドの創出と発信

●茨木おいもスイーツフェア 2014

[実績：スイーツフェアの構成]

◇茨木おいもスイーツラリー

開催期間	平成 26 年 11 月 8 日 (土) ~ 11 月 30 日 (日)
参加店舗数	市内製菓店・飲食店等 34 店舗 (姉妹店 3 店舗含む)
応募件数	243 件
A 賞	全スタンプ 8 名
B 賞	スタンプ 10 個以上 81 名
C 賞	スタンプ 3 個以上 154 名

◇親子でさつまいもスイーツクッキング

開催日	平成 26 年 11 月 29 日 (土) 梅花女子大学
内容	・小学生以下の親子で参加できるクッキング教室。 ・梅花女子大学 食文化学科の学生の指導のもと 「おいもとりんごのパンケーキ」づくりに挑戦。
参加者	茨木市内の小学生以下の親子 15 組

[評価：スイーツラリーの改善案]

◇アンケート結果からの評価

- [参加者]
- 約 90%の参加者が満足感を得ている。
 - 賞品応募件数は前回比 123%。
 - △ 店舗数に対して期間が短い。
- [事業者]
- 多くの店舗で、来客数が増え、対象商品も良く売れた。
 - 店舗の認知度向上と新商品開発のきっかけになった。
 - △ 対象商品は良く売れたが、他の商品への波及は少ない。

◇今後に向けた改善点

- 参加店舗の限定
 - ・開催期間に対応した適正な店舗数を再考し、カテゴリーごとに参加店舗数を絞るなど。
- 郊外店舗の取扱い
 - ・市主催のイベントで、郊外店を集めて販売する機会を設けるなど。
- テーマ食材の再考
 - ・サツマイモの認知度が高まる反面、他の食材利用の要望も多い。
「サツマイモ with くり」など 2 種目にするなど。
- 広報宣伝の強化
 - ・駅周辺や商業施設等、利用者数の多い場所での広報が必要。
 - ・ブログ等、店舗からの発信を強化し、思いを消費者に伝える。
- 販売商品の強化
 - ・開催期間中は、日曜・祝日も営業していただくよう依頼する。
 - ・高額な商品はハーフサイズも準備する、対象商品を 2 点作るなど、消費者が「購入しやすい」工夫。

●ニュースレター (IBARAKI-RYOKU) による情報発信

2 回発行 (① 800 部、② 2,200 部)